

# 平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H29成果目標(指標)	H29成果実績(指標)	評価
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H30	天然芝の良質な状態を保持・適正に管理することにより、スポーツキャンプ等の受入を可能とし、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成に繋げていく。	サッカーキャンプ等の受入(3チーム)	サッカーキャンプ等の受入(3チーム)	◎	
1	②	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 ・目標客数:100名 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志塾事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数:200名 「地域孫会議事業」 ・参加者30名 「琉歌募集事業」 ・応募者数:140首	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 ・目標客数:60名 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志塾事業」 ・参加者55名 3. エコミュージアムの創造 「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数:250名 「地域孫会議事業」 ・参加者126名 「琉歌募集事業」 ・応募者数:143首	○	
1	③	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ～ H29	本市への入域観光客数の増加や市産商品の販路拡大を図るため、県外・国外で開催される物産展等への出展を行い、観光資源や市産商品の情報発信・広報活動に取り組む。	・南城市や市産商品の認知度の向上 ・南城市の観光情報を発信させ観光誘客の促進 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信	・南城市や市産商品の認知度の向上 ・南城市の観光情報を発信させ観光誘客の促進 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信実施	◎	
1	④	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ H31	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける休憩施設等の整備を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	観光客の安全・猛暑対策の充実 ・斎場御嶽周辺休憩施設等整備工事の完了	観光客の安全・猛暑対策の充実 ・斎場御嶽周辺休憩施設等整備工事の完了	◎	
1	⑤	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ～ H30	プロ・サッカーキャンプ及び公式戦受入等の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、スポーツツーリズムを推進していく。	南城市陸上競技場に関する建築、電気、機械、外構工事の完了	－	繰	

# 平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H29成果目標(指標)	H29成果実績(指標)	評価
1	⑥	南城市観光振興計画策定事業	H28 ～ H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	南城市観光振興計画書策定の完了 ※概要版50部、報告書50部	報告書100部	◎	
1	⑦	海外交流推進事業	H28 ～ H31	アジアからインターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の魅力や課題を探り、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査すると共に、アジアの旅行社や関係機関へ本市をPRし修学旅行などのエデュケーショナルツーリズムに取り組み、観光振興に繋げていく。	・学生のSNS等による南城市情報拡散記事数30件 ・PR活動実施の完了	・学生のSNS等による南城市情報拡散記事数30件 ・PR活動実施の完了	◎	
1	⑧	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ H31	観光コア施設を拠点として南城市の魅力を一元発信するため、特徴ある地域をサテライトとして位置づけることの決定やこれらをネットワーク化した全体的なマネジメントなどを明記した総論に基づき各論を策定していく。	南城型エコミュージアム実施計画書(各論その1)の発行【100部】	南城型エコミュージアム実施計画書(各論その1)の発行【100部】	◎	
1	⑨	芸術による地域活性化推進事業	H28 ～ H29	地域のムラヤーを活用し、地域と沖縄県立芸術大学の学生が協働で、地域資源を生かした沖縄ならではの美術工芸体験メニューを構築し、観光振興に繋げていく。	・イベント実施による観光閑散期の集客増100名 ・展覧会への来場者数 100名 ・地域伝承の絵本制作 100部	・イベント実施による観光閑散期の集客増292名 ・展覧会への来場者数 50名 ・地域伝承の絵本制作 50部	○	
1	⑩	南城市海岸線景観魅力アップ推進事業	H28 ～ H29	沖縄本島南部には、多くの様々な観光スポットが点在しており、観光客の多くは、東海岸の青い海を眺望しながら爽快にドライブし本市を訪れている。訪れた観光客がまた訪れたい魅力ある美しい景観(高台からの眺望、移動景観)の創出に取り組む。	玉城地区(L=4.8km)の雑木等伐開の完了	玉城地区(L=4.8km)の雑木等伐開の完了	◎	
1	⑪	南城市観光コア施設整備事業	H27 ～ H33	本市の観光情報を発信し観光交流できる拠点(コア)施設を整備し、観光客の利便性を向上させ更なる観光振興に繋げていく。	施設整備基本計画策定の完了	施設整備基本計画策定の完了	◎	
1	⑫	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H31	広域連携(南城市、伊江村、渡嘉敷村)により、東アジア諸国の中・高校生を対象に、県内各地で約3週間の研修や共通体験等を通じ相互理解を深めることで、グローバル化に対応した将来を担う若者の人材育成と人的ネットワークの形成を図る。	国際感覚豊かな人材の育成:50名 ・県内参加者12名(うち南城市4名) ・県外参加者12名 ・アジアからの参加者26名	国際感覚豊かな人材の育成:46名 ・県内参加者22名(うち南城市19名) ・県外参加者2名 ・アジアからの参加者22名	△	

# 平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H29成果目標(指標)	H29成果実績(指標)	評価
1	⑬	観光交流サイン整備事業	H25 ～ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	集落域文化遺産サイン設置工事完了	集落域文化遺産サイン設置工事完了	◎	
1	⑭	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ H30	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	・バス乗降場上屋の完成 ・一部擁壁の完成	・バス乗降場上屋の完成 ・一部擁壁の完成	◎	
2	①	耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	農家の生産性向上を図るため、気候条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウス(パイプハウス)の整備費用に対する補助を行う。	耐候性ハウスの整備(5,000㎡ 約20棟)	耐候性ハウスの整備(3,630㎡ 6棟)	未	
2	②	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化(8歳未満) ・基本登録時審査成績向上	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化(7.67歳) ・基本登録時審査成績向上	◎	
2	③	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭)	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭)	◎	
3	①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ H33	低炭素社会を構築するため、市内の防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替えることにより温室効果ガスの排出削減を図る。	防犯灯及び公共施設が排出する温室効果ガス(Co2)を8,411kg削減	防犯灯及び公共施設が排出する温室効果ガス(Co2)を50,965kg削減	◎	
4	①	学習支援員配置事業	H25 ～ H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率を目指す。 小学校:県平均以上を目指す 中学校:県平均以上を目指す	小学校:県平均(64.7) 小学校64.0(△0.7) 中学校:県平均(47.4) 中学校47.1(△0.3)	未	

# 平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H29成果目標(指標)	H29成果実績(指標)	評価
4	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の通常学級への受入れ機会が増加している。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員を配置し、担任教師と連携し、適切な特別支援教育を行う。	・学習や学校生活におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境を構築 ・幼児、児童、生徒個々の特別支援教育支援員活用報告書の作成(年2回)	・学習や学校生活におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境を構築 ・幼児、児童、生徒個々の特別支援教育支援員活用報告書の作成(年2回)	◎	
4	③	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ H31	児童・生徒の学力向上の取り組みとして、ICTを活用し既存の学習活動と融合した効果的な授業展開を実施することを目的に、各小・中学校の普通教室や特別教室へ電子黒板等を整備する。	・学力到達調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 ※H28年の無回答率 4.0ポイント H28県平均の無回答率 4.8ポイント	・学力到達調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数前年度比較:-1.6ポイント	未	
5	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ H33	本市は神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・「御嶽(仮称)」刊行 ・「資料集 戦争」実地調査による資料収集と整理 ・「民俗」実地調査による資料収集と整理	・『南城市の御嶽』刊行 ・「資料集 戦争」実地調査による資料収集と整理 ・「民俗」実地調査による資料収集と整理	◎	
5	②	文化センター機能強化事業	H25 ～ H29	来場者の満足度向上及び来場者数の増加を図るため、文化芸術発信の拠点である文化センター・シュガーホールの機能強化を実施する。	屋外ステージ常設屋根等設置工事の完了	屋外ステージ常設屋根等設置工事の完了	◎	